

文人畫選

第一輯 七册

特280

特280-13



120050113245

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15

始





文人畫選 第一輯第七冊

歸堂學人 大村西崖鑒輯

大阪 阿部房次郎君藏

一 明沈周雲山重疊圖 紙本水墨 高五尺二寸一分 潤二尺四寸二分

沈石田は既に第三、第六冊に出てたり。茲に掲ぐるは、最も其平生の遒勁なる健筆を鑒賞なるに宜しき佳作なり。紙素完潔殊に喜ぶべしと爲す。

李流芳蕭樹孤亭圖 金箋水墨 高二尺 潤一尺一寸四分

東京 田邊碧堂君藏

李流芳字は長蘅。檀園と號す。嘉定の人にして常熟に居る。萬曆三十四年孝廉に擧げらる。山水清標。寫生宋元に出入して、逸氣飛動す。人と爲り孝友誠信。書東坡を法とし、篆刻何雪漁に仿ひて之に過ぐ。萬曆三年に生れ崇禎二年卒す。歳五十五。著檀園集あり。本圖以て其の畫風の一斑を観るべし。

三 程嘉燧倪法山水 紙本水墨 高三尺二寸二分 潤一尺三寸三分

東京 菊池惺堂君藏

程嘉燧字は孟陽。松圓と號す。休寧の人にして嘉定に僑居す。山水倪黃を法とし、兼ねて寫生に工にして、筆墨腴潤なり。音律を曉り、古書畫器物を嗜み、意に當れば輒衣を解き囊を傾けて惜まず。少より制科を學びて成らず、去りて劍を學ぶ。亦成らず。乃節を折りて書を読み、刻意詩歌を爲る。李流芳等と詩畫の友にして、又共に嘉定四君子の一人たり。又吳梅村畫中九友の一人たり。嘉靖四十四年に生れ、崇禎十六年休寧に還りて卒す。歳七十九。著浪陶集あり。本圖は歿前一年の老筆にして、雲林を撫して而も自から一家の致あるを見る。

四 黃道周松石圖 紙本水墨 高三尺七寸三分 潤一尺二寸八分

大阪 阿部房次郎君藏

黃道周字は幼元、又麟若と云ふ。石齋と號す。漳浦の人なり。天啓二年の進士にして禮部尙書に至る。山水人物長松怪石皆磊落を極め、眞草隸書自から一家を成し、又詩を能くす。文章風節天下に高し。明亡びて金陵に繫はれ、獄に在りて日々尙書周易を誦す。後終に殺さる。萬曆十三年に生れ、清の順治三年卒す。歳六十二。忠端と諡せらる。著石齋集等あり。本圖以て其得意の筆を観るに足れり。

五 馬守眞畫册

第二册以下連載せる畫册中の二頁を掲ぐ。

東京 副島延一君藏

六 清王時敏仿北苑山水

紙本水墨 高三尺一寸三分 潤一尺四寸五分五厘

東京 山本二峯君藏

六七 祁多佳山窓倚傲圖

紙本水墨 高五尺一分 潤一尺四寸八分

大阪 阿部房次郎君藏

祁多佳字は止祥。山陰の人なり。明の天啓七年孝廉に擧げられ、教諭を以て吏部司務に遷る。甲申の後仕へずして梅市に隱る。山水荆關の室に入り、又花卉を善くす。書は思翁を學び、詩文詞皆致あり。歌奕圖章百戲に至るまで、俱に之を善くす。本圖は順治十四年の作にして、最も其技風を観るに宜し。

八 蔣廷錫花卉卷

絹本設色 高一尺三分五厘

東京 黒澤禮吉君藏

蔣廷錫字は揚孫。西君と號す。又西谷伊子の號あり。大學士に至り、世宗の重する所たり。花卉寫生風神生動す。康熙八年に生れ、雍正十年卒す。歳六十有四。文肅と諡せらる。著青桐軒秋風片雲諸集あり。遺作贗偽多し。此卷は世宗の勅を奉じて畫く所にして、卷首に御題あり。今僅に一部分を掲ぐ。以て其の没骨清麗の妙趣を鑒賞すべし。

九 李世倬苜蓿亭松徑圖

紙本水墨 高二尺五寸五分 潤一尺一寸五分

東京 林屋秋嶺君藏

李世倬字は漢章。穀齋と號す。朝鮮の人にして漢軍籍に隸す。鐵嶺高其佩の甥なり。仕へて副都御史と爲る。山水人物、指授と王羣馬逸に得て、花鳥果品は舅氏の指墨の法を得て、易ふる手筆以てし、各其妙に臻る。又詩に工なり。本圖羅牧に仿ひて而も雲林の趣を兼ね逸致頗る賞するに足る。

十、董邦達山水册

東京 黒澤禮吉君藏

第二册以下連載せる畫册中の二頁を掲ぐ。

十一、章谷春山雪景二圖

絹本淡彩 各高五尺一寸八分 潤一尺五寸七分

候爵 尙 昌君藏

第四册以下連載せる聯幅の二圖を掲ぐ。

十二、奚岡山水册

亦第四册以下連載せる畫册中の二頁を出す。其末頁の款識に依りて、乾隆四十一年の作なるを知るべし。

十六 釋髡殘秋景山水

紙本淡彩 高五尺九寸 潤三尺九分

大阪 阿部房次郎君藏

髡殘俗姓は劉。字は石谿。白禿と號し、又自から殘道者と稱す。武陵の人なり。幼にして特枯を失ひ、自から髮を剃り、諸方に屢參し、後金陵に來り、牛首寺に住して堂頭和尙たり。筆墨蒼莽高古、境界天矯奇闢。處々人を引いて勝に入らしむるの妙あり。本圖其一、大佳蹟にして、殆ど其面白を罄すに足れり。

十七 日本岡田半江牡丹圖

絹本水墨 高五尺七寸一分 潤一尺五寸六分

大阪 靜 藤次郎君藏

大式廿 前出諸圖款印。



千個芙蓉堂
萬壑淋漓元
氣太隆岳巨
虛萬少憑君
指醉裏狂
揮醒不知
沈周





不
見
其
林
之
多
年
積
時
成
於
神
仙
之
境
也
一
日
見
之
理
亦
在
此
間
紫
城
王
子
歲
三
月
元
日
畫
於
滬
上





事有不濟已過偶來能平
即以此在素而進之華
生活志無不茂 風情可平松
牙子劉東山痛楚 孫德山鳴
雨子於南如賦 逆鼓頌日
橫義流如世山 遠寄青此
寫陸

吳昌碩
丁酉三月十日





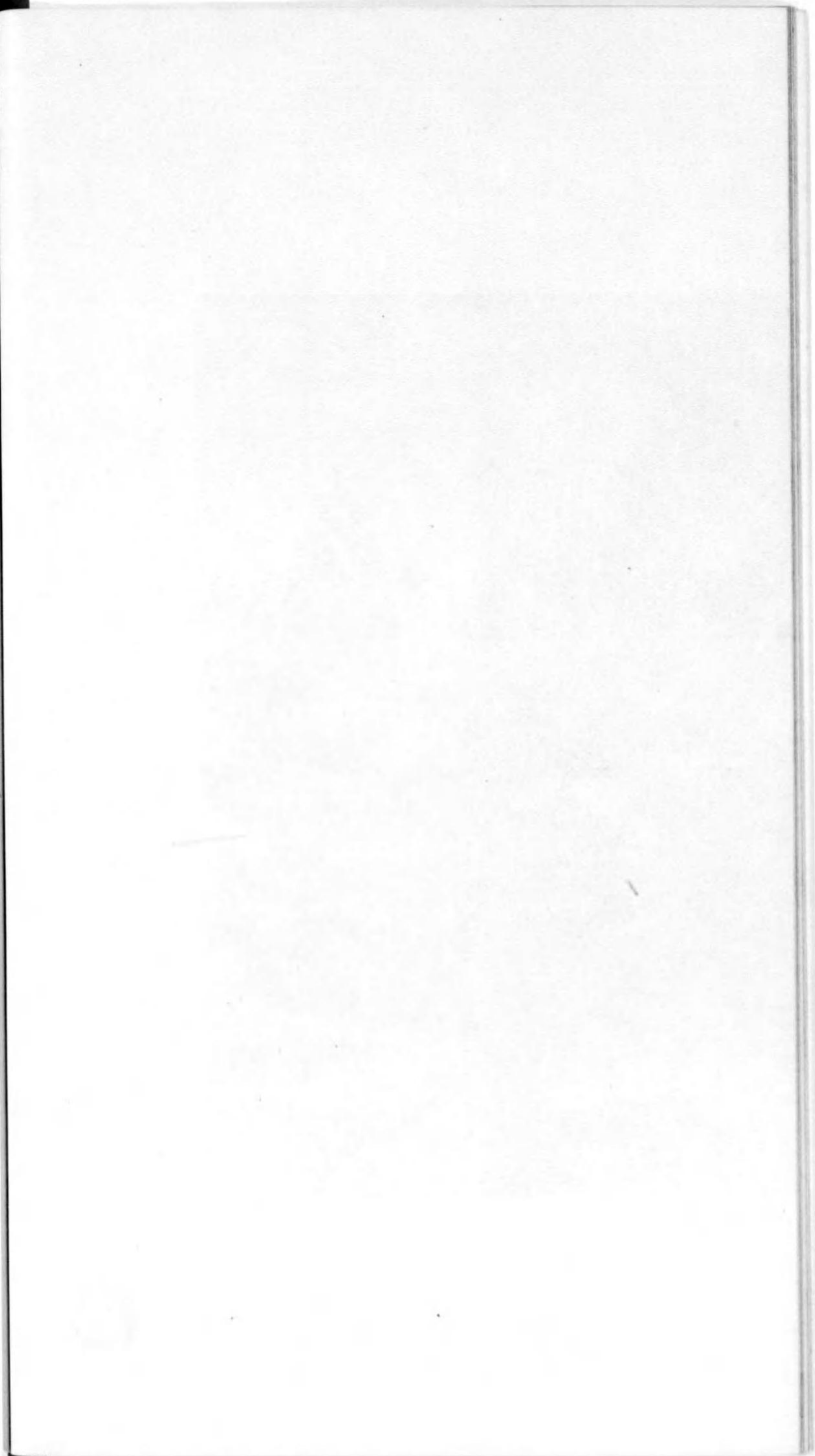


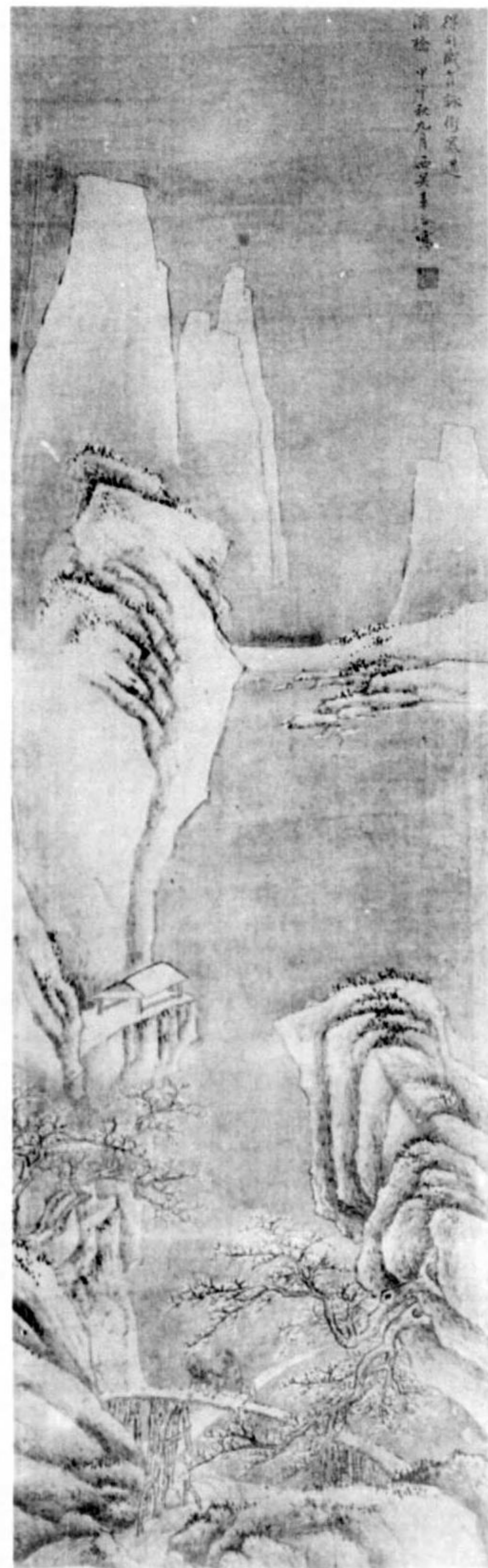


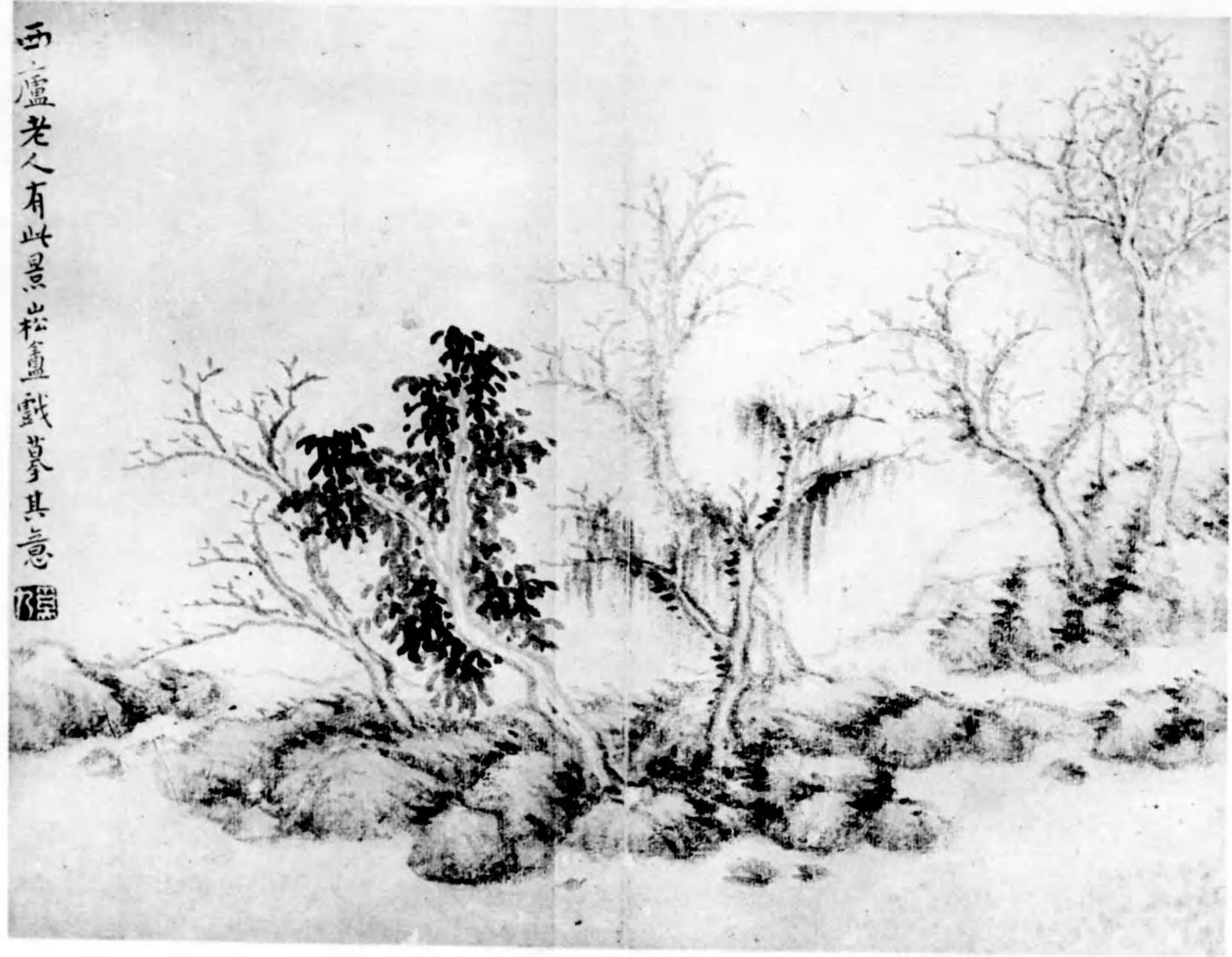












西廬老人有此景山松畫戲摹其意





雨窓翁榻聽漏、寧
竹蕭疎畫掩閑快
得米家禪味好峻
增白寫郭西山
乾隆丙申臘月於
古十二冊王翠玲賦
山館井東逸史吳同





水清石瘦
一若孤烟
望林西
某國
在
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十



竹梅
五
年
三
月
筆
墨
生
香
石
大
家

沈周雲山重疊圖款印



李流芳蕭樹孤亭圖款印



水山燈高程
印款

圖石松周道黃
印款



王時敏山水款印



李世倬菊亭松運圖款印



祁豸佳山窓倚傲圖款印



蔣廷錫花卉卷款印



岡田半以社丹圖款印

半以岡田社丹圖款印



癸卯九月上澣作于天湖山房
石溪翁道者



癸卯秋景山水款印

大正十一年十月七日印刷
大正十一年十月七日發行
編輯者 東京市牛込區矢野町三番地舊敷十二號
發行所 東京市牛込區矢野町三番地舊敷八號
大村西崖
丹青社
水上齊
振替口座東京五七四空香

終

